

平成22年度 愛媛県植樹祭

～しまとやま えひめはみどりの たからぶね～ 主催 財団法人愛媛の森林基金/愛南町



愛媛県植樹祭開催！

さわやかな青空のもと、あけぼの公園で「平成22年度愛媛県植樹祭（愛媛の森林基金・愛南町主催）」が開催され、加戸守行愛媛県知事をはじめ緑の少年団や林業関係者など約320名が参加し、式典や記念植樹などが行われました。

式典では、南予地域の緑の少年団8団体78名による入場行進に始まり、本年度の緑化キャンペーンテーマ「しまとやまえひめはみどりのたからぶね」で特選に選ばれた砥部町立宮内小学校2年生の松澤呼春さんら4名に表彰状が贈られました。

続いて緑の少年団活動発表が行われ、「篠南緑の少年隊」は地域のシンボルで足摺宇和海国立公園に含まれる「篠山」を守る活動として、登山者へのリーフレット配布、看板作り、清掃活動、学習会の実施について発表しました。「篠山を守る活動を行うにつれて、篠山を大切にしたいという気持ちが高まってきたように思います。これからも篠山を守る活動を続け、未来にきれいな篠山を残したいと思います。」と決意を述べました。

「緑小学校緑の少年団」は、二酸化炭素を吸収し酸素を作ってくれる森林を維持する大変さや、海で採れる力キの成長には森と川と海のどれもが重要であることなど、学習会を通じて学んだことを発表しました。「時間を割いて教えていただいた地域の方々から、仕事に対する真剣さや熱意も学びました。自分たちも真剣に仕事をして、子どもにやさしい大人になれるようがんばります。」と決意を述べました。

最後に、御莊菊川緑の少年隊の尾崎大生くんと柏小学校緑の少年団の服部早恵さんが「みどりを愛し、緑化運動、花いっぱい運動に積極的に取り組み、ふるさとをより美しくするために活動します。」と力強く誓いの言葉を述べました。

式典終了後、関係者が会場周辺で記念植樹を行いました。この植樹祭を契機に、森林を守り育てる活動の輪が大きく広がり、緑あふれる豊かな自然が未来の子ども達のために引き継がれていくことを期待します。